



生協みき診療所

国会から憲法改正問題が聞こえてくる中、みき診療所では、医療生協の組合員、労働組合、薬局の職員共闘で新たな行動に取り組んでいます。

生協みき診療所デイケア利用者様が、バラの花で飾ったとても素敵なディスプレイを作ってくれました。



バラのハートで憲法改正反対メッセージ



そこに平和憲法を守りたい思いが込められた名刺サイズの一言カードがどんどん張り付けられ素敵な輪が広がっています。

今後も9条改正反対の思いを広く伝えて、平和憲法を守る運動を広げてみんなで元気に過ごしたいと願っています。

(香川医療生協組合員活動部 岸本大助)

止めないかん！安倍改憲 四者共闘オールアクション



リレー投稿

沖縄で名護市長選挙が4日、投開票され、辺野古新基地建設を推進する政府与党が推す無所属新人の渡具知(とぐち)武豊氏が、建設に反対する無所属現職の稲嶺進氏を破って初当選しました。

渡具知氏は選挙では経済振興策を訴えて基地建設について触れませんでした。建設阻止を掲げた稲嶺氏の落選で、実質的には基地建設が進展する見通しとなっています。

個人的には、今回の選挙結果については残念ですが、当の地域住民の気持ちはどうだったのでしょうか。

私は2016年の高江・辺野古支援行動に参加しました。現地で見したのは生活道路に警官隊や自衛隊、民間の警備会社が車両を敷き詰め、反対勢力は力で押さえつける構図でした。

支援行動中の食堂で出会った沖縄の方からは「高江では無理して捕まったらダメだよ、本土に帰れなくなるよ」と諭されたりしました。

今回の選挙でも、遠く本土のマスメディアが基地「賛成派」とか「反対派」と紙面を書き散らかしていますが、地元住民にとっては、このような緊張した日常が長期間続いています。もともと無かった問題を一方的に押しつけて「賛成派」も「反

対派」もないでしょう。

最後に、押しつけ、といえ、安倍首相は1月5日、自民党仕事始めの会合で、憲法改正について「時代に対応した国の姿、理想の形をしっかりと考え、議論していくのは私たちの歴史的使命だ」と述べて、2020年の新憲法施行に向けて、意気込みを語りました。

自分勝手に歴史的使命を感じて意気込むのもいいですが、憲法9条への加憲が「国の理想の形」とは薄ら寒い。何より権力者に暴走されると国民は甚だ迷惑です。

これからの憲法を守る運動は、権力者と市民の運動が直接対峙し、遠くない時期にその勝敗が示される運動だと思います。しっかりと支え切れるように、学習をはじめとして、地域や、職場の足もとから固めていかないといけないと思います。

(香川医療生協総務部 木村達彦)

安倍改憲に

物申す



一言